

## 令和 5 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

### ●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,993,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建    ◇敷地面積:829.92㎡    ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、多目的ルーム、事務室		

### ●利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,289	6,520	5,887	5,644	5,763
	移動児童館利用者数	662	205	656	291	282
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※15(11)	※8(6)	※14(9)	※11(8)	※7(6)
	開館日数(単位:日)	151	155	151	155	149

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

### ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①開館日・開館時間を計画通り適切に実施した。 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員4人(内休日対応職員として職員2人) 保有資格は、保育士資格4人、児童厚生員2級資格4名、他教諭資格を保持しているもので人員は構成した。 ③おたより児童用「メロディ」乳幼児用「めろでい」の2種類を作成して毎月発行している。近隣小学校へはクラスごとに人数分をまとめて持参して配布をお願いしている。近隣公民館へも配布し、ホームページにも掲載した。ホームページへは、おたよりの他に毎月の活動の様子を随時の掲載した。写真については利用者へ承諾をいただき、掲載した。法人和光会グループホームページやフェイスブックへの掲載も更新した。 ④常時ご意見箱を設置し、意見・要望があった場合は早急に対応にした。また、利用者アンケートを下半期1回実施、実態を把握し問題の解決に努めた。利用者アンケート結果や要望意見への回答をホームページや館内掲示もした。 ⑤仕様書、事業計画に基づき、適切に実施した。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施した。 ②日常清掃を施設内外で毎日遂行。安心安全に努め、感染症対策及び点検のため、昼、閉館後の全館清掃時に遊具消毒と整頓を実施し、翌日の使用に備えた。消毒しにくいものを中心にオープン式保管庫も以前同様に活用した。新型コロナウイルス感染症などの感染症拡大防止対策は継続して細心の注意を払い遂行した。定時による換気も継続し実施した。遊具の扱い方への理解協力は継続して求めた。週2回、就労促進事業清掃班(ワークサポートあすなろ)による清掃も継続して行っていただいた。契約業者によるワックスかけや清掃も実施した。施設外においては除草、掃き掃除、ごみ拾い等を実施して快適に過ごせるように努めた。 ③職員の意識統一を図り、使用していない部屋の電灯を消すことなどの節電対策を実施した。またエアコンは適温設定を基本とし、寒暖差の対応をした。職員による定期点検の実施、気温、室温チェックも行った。幼児や児童の工作においては、廃材の利用で小物作りや手作りおもちゃ作りに取り組み、裏紙を使用して利用者カード作る等を奨励することで省エネルギーやリサイクルで管理費の縮減に努めた。 ④施設警備はセコム職員による朝夕の施設内・施設外周の見回り点検を実施しチェック表へ記録した。また法人・危機管理室職員が週2回以上、館外の巡回を実施のため来館した。玩具については、破損が発見された場合は職員が修理またはおもちゃ病院ぎふに修理を依頼した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した個所については速やかに職員が修繕した。また業者へ修繕が必要な場合は見積もり徴収後、依頼した。 ②簡易な修繕については、児童館職員で行った。また法人本部の総務課に修繕依頼し対応した。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①日 ③すべてにおいて、岐阜市のマニュアルと法人マニュアルに沿って実施。 また、法人研修の接遇や事故対応等の研修に参加し、職員会等での報告会で伝達講習を行うほか、ヒヤリハット報告書の記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めた。

### ●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;          期間: 令和6年1月10日～2月10日          回答者数: 50人</p> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt;          期間: 令和6年1月11日～2月10日          回答者数: 55人(小学: 1年10人、2年4人、3年11人、4年6人、5年16人、6年4人)          (中学: 1年0人、2年4人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;</p> <p>【校区】 白山(12人)、梅林(9人)、長森西(6人)、華陽(4人)、長森東(4人)、厚見(4人)、徹明(3人)、長森南(2人)、その他市内(5人)、その他市外(1人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(14%)、30代(68%)、40代(16%)、50代以上(2%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(4%)、ほぼ毎日(0%)、2～3回(24%)、週1回(24%)、2週間に1回(22%)、月1回(20%)、その他(6%)</p> <p>【来館相手】 子(98%)、孫(2%)、友人(0%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(17%)、1歳(31%)、2歳(31%)、3歳以上(21%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(32%)、自転車(3%)、自家用車(65%)、公共交通機関(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(55%)、広報紙・チラシ(1%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(7%)、知人・友人(20%)、ぎふ子育て応援アプリ(1%)、ブログ・SNS等のソーシャルメディア(0%)、その他(16%)</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (言葉づかい) 満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (利用者対応) 満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (利用しやすさ) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (整理整頓) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (清潔感) 満足(92%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (換気) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt;</p> <p>【学校名】 梅林小(43人)、白山小(4人)、梅林中(4人)、長森西小(3人)、その他市外(1人)  【学年】 小学: 1年(18%)、2年(7%)、3年(20%)、4年(10%)、5年(31%)、6年(7%)  中学: 1年(0%)、2年(7%)、3年(0%)  高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(1%)、毎日(1%)、週に4・5回(3%)、週に2・3回(18%)、週に1回(20%)、その他(57%)  【来館相手】 ひとりで(11%)、友人(62%)、兄弟姉妹(18%)、父母(3%)、祖父母(3%)、親戚(0%)、その他(3%)  【来館方法】 徒歩(48%)、自転車(41%)、自家用車(10%)、バス・電車(0%)、その他(1%)  【好きな遊び】 ドッジボール(21%)、卓球(17%)、ボードゲーム(13%)、カードゲーム(8%)、その他(41%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>&lt;保護者&gt;</p> <p>・平日に園に通っている子向けの行事があるとうれしい  ➡休日に「パパとあそぼう!」や「お兄ちゃん・お姉ちゃんとあそぼう!」などを実施しています。是非参加してみてください。そのほかも今後、検討していきますね。  ・トイレの便座が冷たいのでヒーターがあると嬉しいです・あたたかいとうれしいです。  ➡そうですね。冬は冷たいですね。岐阜市子ども支援課へ相談させていただきます。  ・絵本のコーナーの近くでCDラジカセで音楽をかけていただいていると思うのですが少し離してもらえると、読み聞かせの声に干渉しなくてよいかと思いました  ➡すぐに対応させていただき、音楽が読み聞かせに邪魔にならないにしました。気が付き遅くご迷惑をおかけしました。</p> <p>&lt;児童&gt;</p> <p>・月よう日もあそびたい  ➡たくさん児童館で遊びたいと思っていただき嬉しいです。職員のお休みも必要なのでご理解して下さい。  ・小学生も幼児ルームに入りたいです! 幼児のおもちゃで遊びたい。  ➡普段は入れませんが小さい子とあそぶ日もあるので一緒にあそんであげてください。  ・ゆうぎしつをもっと広くしてほしい  ➡そうですね。広いととってもたくさんのおともだちとあそべますね。でも、広くするには建物を大きくしなければいけないので今は難しいです。  今後検討します。  ・みんなで児童館から出るイベントがあつてほしい(散歩、公園など)  ➡移動児童館として遊ぶことを考えていきたいと思います。  ・あついから大きいせんぶうきがほしい  ➡夏は暑いから冷房とサーキュレーター等で対応していますが室温にもっと気を付けますね。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○全体          ・今期も円滑な運営するために感染症対策など含め、岐阜市子ども支援課や法人本部の指導を受け、職員間での話し合い、報連相も密に行い遂行に努めた。          利用者からのクレーム・トラブルもなかった。          今期の開館日数…開館日数 151 日間 利用者数 7,289 人          ・感染対策として遊具や室内の消毒を継続した。          ・室内環境を整えた。来館し居心地よく過ごせるように清潔保持の他、季節感を味わう壁面飾りや児童の図書学習室・乳幼児室内のいろいろな遊具に興味を持ってもらえるように遊具の配置を変えた。目先が変わり、変化が見られ、友だちと遊ぶ集団遊びが増えた。今期も遊具、玩具の入れ替えや新規購入をし、数を増やした。「おもちゃがたくさん増えて嬉しい」との声を多くいただいた。          ・児童、乳幼児ともに上半期よりイベントへの定員を増やし、多くの友だちと楽しめるようにした。これまで同様に日程選びや時間選びができるような工夫を継続した。感染対策で少人数にし数日間設定をしていたハロウィンやクリスマス会を1回開催として定員人数を増やし、コロナ禍以前のように大勢で楽しむ会とした。たくさんの笑顔が見られ、満足していただいた。職員も企画が成功して満足感を得た。          ・その他、利用者ニーズに応えられるよう活動準備や館内外の環境の整備・保全などを職員全員で進めた。          ・館外は上半期同様に法人和光会の危機管理室職員の巡回が毎週3回程度あり、利用者の安心安全だけでなく、職員も安心して運営することができた。          今期も草取り・植木の剪定・入口花壇の手入れを利用時間外に行った。花壇には季節の花を意識して、幼児や児童とチューリップ球根を植えた。来館ごとに花壇を見る姿があり、球根から育つ様子を職員と楽しみに観察できていた。3月末に花が咲き、喜んでいた。乳幼児保護者は花の成長を我が子と一緒に喜べたことに満足していただいた。          ・来館カード継続…定着した。来館者に梅林児童館へ行くとスタンプカードがあるとネットに掲載され、情報を見た方々から反響があった。今後も継続していく。          ・岐阜県林政部ぎふ森林づくりサポートセンターより木のおもちゃをお借りし、乳幼児親子・児童に遊んでいただいた。香りや素材に触れて、癒されながら過ごす時間となっていた。児童や幼児だけでなく保護者にも好評だった。          ○子育て支援事業          ・幼児クラブは、年齢や発達に応じた計画をたて、実践できた。口頭やアンケートでのご意見に「子どもの成長を知ることができる活動が嬉しいです。」などの感想をいただき、職員もお子さんの成長と一緒に見守ることができ、子育て支援の場であることを意識付けできた。          ・上半期にリユース掲示板を乳幼児室に設置し、下半期利用者が増えた。「ゆずってください」と「ゆずります」を自由に書きこむことができることが好評であった。今後も継続する。          ・大きなイベントとしてクリスマス会を実施した。今年もお手伝いに梅林地区民生委員・主任児童委員の協力で地域の公民館で活動されているオカリナサークルとトーンチャイムサークルの方に依頼して演奏をしていただいた。「子供たちに演奏を聴いてほしい」と快諾していただいた。クリスマス曲や季節の歌に皆で聞き入った。「とても楽しい時間だった」と演奏した方々から感想をいただいた。保護者にも地域の見守りがあることを知っていただく機会となった。          ・今期も母親たちの「ママハンドクラブ」とハンドベルの「りんりんクラブ」を実施した。ハンドメイド指導を地域で活躍されている方に依頼ができ、毎回、満足する作品ができていた。手作りおもちゃは帰る際には、お子さんが大事そうに持って帰る姿があり、ほほえましい光景だった。お話をしながらできていたため、母親たちのリフレッシュの会にもなっていた。母親たちの作業中、お子さんたちは膝の上やおもちゃで遊びながら過ごすことができた。りんりんクラブはクリスマス会で演奏していただいた。「達成感を感じられた」と感想をいただいた。練習はお子さんを抱っこや傍で見守りながら行われていた。和気あいあいと進められていた。来期もメンバー募集して継続予定。          ・リサイクル活動「ハッピーリサイクル」が今期も好評だった。暖冬で衣替えが遅く、リサイクル品の服が集まらず、開催時期を延期したが開催時は、大盛況だった。来期も開催予定。          ○児童の健全育成事業          児童の活動はコロナ禍に中止していた運動系の遊びを開始した。大縄跳びでは多人数で楽しめるため児童が喜んだ。季節に合わせた『春まつりウィーク』『サーキット』などを取り入れ実施した。          ・新しいイベントに毎月、挑戦できる遊びを設定した。普段から親しんでいる遊びをお友達と競うあう日を設け楽しんでもらった。名称を「月間グランプリ」とし、例として5月はマンカラ・ミニミニカーリングを競い合った。毎月変わることで学年に関係なく、個々の得意なことでも活躍する姿も見られた。互いに教えあう姿や下級生に遊び指導する姿もあり職員は見守りができた。          夏まつりは中学生のボランティアを募集したが今回は学校との予定が合わず応募がなく残念だった。近隣の梅林中学校校長より、「何かあれば協力する」との声をいただいているので来期の児童館イベントではボランティア参加を積極的に促したい。          ○地域支援活動事業          ・下半期は移動児童館の依頼が15件あり、上半期の倍になった。集団あそびや季節感を出したハロウィン工作、クリスマス飾り、カレンダー作り、お正月あそびを実施した。とても喜んでいただいた。          ○今期も公民館主催の子育て講座「ベビーヨガ」を梅林児童館が協力し開催した。コラボ体制を取り、申し込み受付や会場内の準備、講座前のアイスブレイクを担当した。乳幼児が集まりやすいとのことで公民館より再依頼があり実施となった。「たくさんの方に参加していただき、楽しんでいただけた」と公民館館長より感謝の言葉があった。互いに協力でき成果が良かった。          ○民間児童館活動事業          育児相談はワンオペ育児の母親が多く、気持ちを受け止めた。相談後の来館時に声をかけて様子を聞くようにも努めた。些細なことでも話すことができるように信頼関係作りを意識した気配りに努めた。治療が必要と思われることなどの専門外の相談については関係機関への受診や相談を勧めた。          ○地域との連携          児童・生徒たちの遊びや活動の様子を運営委員会等で伝え連携をとれる体制を継続している。また、例年通りに近隣の公民館運営協議会や各種団体長会議へ出席して、地域の方々と情報共有でき、児童館への協力を頂いた。</p>
--------------------------	--

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○児童からの意見・要望への対応          ・「たくさんボールを用意して欲しい」との要望に対しては、ボール遊びがコロナ禍にできなかったあそびのひとつであったこともあり、大小のボールやボールプールなどの準備をしてイベント実施や日常も時間を決めて広い遊戯室で満足して遊べるようにした。時間を決めたことで他の遊びも選択して楽しむことができていた。          ・「たくさん本があつて嬉しい」との意見も多くいただいていたので児童から聞き取り、興味のある本や毎月のコミック本も購入した。読書目的の児童の来館も増えてきた。今後も継続して本の購入を検討していきたい。</p> <p>○乳幼児保護者からの意見・要望への対応          ・「日曜、土曜に一緒に連れてくる園児や児童の兄弟の遊びを考えて頂きたい」との要望に対しては、毎月「お兄ちゃん・お姉ちゃんとおそぼう」を企画した。遊戯室で一緒に遊んでいたように、サーキット遊びやままごとコーナーなど開催ごとに遊びを設定した。とても好評で今後も継続する。祖父母と一緒に来館することもあり、多世代交流もできている。          ・「誕生日会の定員を増やしてほしい」との要望に対して、定員を増やして対応した。          ・「年間予定が知りたい」との要望には令和6年度より事業計画で予定している行事を知らせていくこととした。下半期は早めに次月予定を知らせるように努めた。クレームはなかった。          絵本や児童書も購入した。今後も希望を聞き取りして購入予定。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○全体          ・誕生日会を平日から日曜日に変更し、毎月開催予定。          乳幼児だけで平日に誕生日会を開催していたが、来期より日曜日に乳幼児、児童、生徒など多世代で祝う会とする。バースデーカードはこれまで同様に職員が手作りする。</p> <p>○子育て支援事業          ・幼児クラブの名称と対象年齢を変更する。成長に合わせたおおまかなくくりで幼児クラブを開催していたが年齢別のクラブとする。ねんねクラブ⇒ひよこ0歳クラブ          よちよちクラブ⇒うさぎ1歳クラブ とことこクラブ⇒ぞう2・3歳クラブ(未就園児)</p> <p>○地域組織活動支援事業          地域(公民館・小学校等)で開催される事業へ児童館としてこれまで同様、協力体制を取っていく。移動児童館の依頼があれば、地域の子育て支援の拠点としての活動を行っていく。</p> <p>○児童健全育成事業          ・環境整備を継続して行き、安心安全の居場所作りをする。          ・今年度、児童が興味を持ち、楽しめていた遊び(卓球、カラム、オセロ、ミニミニカーリング等)について、競い合えるよう大会の開催やまだ経験できていない児童に挑戦してもらう日を企画する。</p> <p>○民間児童館活動事業          ・ボランティア育成。企画や準備へ積極的に参加できるよう活動を増やす。イベントに興味を持ってもらえるように中学生を中心にボランティア募集をしていく。          ・地域の方に特技や技術を教えていただく講座を設けていく。ポスター作成や地域の方へのイベントなどで呼び掛けをする。</p>

●所管課の意見

○多世代交流の場として遊戯室を使用したり、児童と乳幼児親子と一緒に遊べる日を設けるなど、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。  
 ○移動児童館を下半期で15回実施し、そのうち未設置地区を11回実施するなど、児童館未設置地区での児童館の活動普及に努めている。  
 ○近隣の中学校から職場体験を受け入れたり、民生委員や地域サークルとの交流の場をつくるなど、積極的に交流事業に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。  
 児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切に、今後も運営に努めて欲しい。  
 移動児童館の実施や地域の団体との情報共有がされている点が評価できる。  
 トイレの便座が冷たいとの指摘があるが、改善を検討されたい。  
 親たちのリフレッシュの機会の提供やリユース掲示板の設置など、利用者目線での工夫がなされており評価できる。